

梅雨期（6月11日以降）の大雨による林野関係被害

（確定）

○ 被害状況

(1) 被害額

（単位：被害額 百万円）

区分	民有林		国有林		合計	
	箇所数	金額	箇所数	金額	箇所数	金額
林地荒廃	1,142	18,747	113	6,632	1,255	25,379
治山施設	38	468	14	156	52	624
林道施設	3,151	4,990	360	1,429	3,511	6,419
（面積ha）	(107)		(-)		(107)	
森林被害		92		0		92
その他	-	-	-	-	-	-
（面積ha）	(107)		(-)		(107)	
合計	4,331	24,297	487	8,217	4,818	32,514

注：被害箇所、被害金額については確定。

：その他は、木材加工施設及び特用林産物生産施設等である。

：四捨五入のため合計額の数値が一致しない場合がある。

(2) 主な被災県

広島県、長野県、鹿児島県、岐阜県、宮崎県、岩手県、福岡県、佐賀県、山口県、秋田県等

(3) 人的被害等（山地災害に係るもののみ計上）

県名	死者	行方不明	全壊家屋	半壊家屋
岐阜県	3	—	2	—
広島県	2	—	2	16
佐賀県	—	—	4	8
福岡県	—	—	2	5
滋賀県	—	—	2	—
岡山県	—	—	1	—
長崎県	—	—	1	—
熊本県	—	—	—	3
福島県	—	—	—	1
山口県	—	—	—	1
宮崎県	—	—	—	1

(4) 対応状況

- ・被災状況の把握と今後の対応を検討するため、林野庁の担当官を鹿児島県へ派遣（7月5日）
- ・九州森林管理局は、被災状況の把握のため、宮崎県及び鹿児島県においてヘリによる現地調査を実施（7月7日～8日）
- ・中部森林管理局は、被災状況の把握のため、長野県においてヘリによる現地調査を実施（7月9日～10日）
- ・被災状況の把握と今後の対応を検討するため、林野庁の担当官を広島県（世羅町外）へ派遣（7月15日）
- ・被災状況の把握と今後の対応を検討するため、林野庁の担当官を広島県（庄原市）へ派遣（7月17日～18日）
- ・近畿中国森林管理局が、被災状況の把握のため、広島県においてヘリコプターによる現地調査を実施（7月19日）
- ・九州森林管理局は、被災状況の把握のため、福岡県及び佐賀県においてヘリコプターによる現地調査を実施（7月19日）
- ・広島県からの要請を踏まえ、森林総研の専門家等を広島県（庄原市）へ派遣し今後の対応について助言（7月20日～21日）
- ・広島県への農林水産大臣現地視察に林野庁森林整備部長等を派遣（7月26日）
- ・（衆）災害対策特別委員会の鹿児島県への被災状況等調査に、林野庁山地災害対策室長を派遣（7月28日）
- ・これまでに、長野県ほか20県において126箇所、事業費5,504百万円について災害関連緊急事業を採択
- ・これまでに、岐阜県ほか6県において8箇所、工事費299百万円について治山施設災害復旧事業を採択